

The Record 2023

9・10 September / October

vol. 747

CPPC10 年～違法対策の現在～

「令和 5 年度 一般社団法人日本レコード協会寄附講座」法政大学・電気通信大学で開講

RIS503 別冊「ISRC 付番規則」改訂版発行



2023

9・10

September /October

CONTENTS

- 1 Monthly News Digest
- 3 **特集**
CPPC10年～違法対策の現在～
- 8 **特報**
「令和5年度 一般社団法人日本レコード協会寄附講座」法政大学・電気通信大学で開講
- 9 **特報**
RIS503別冊「ISRC付番規則」改訂版発行
- 10 Data File
- 11 Monthly Production Report
- 13 Certification



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人 日本レコード協会の登録商標です

Monthly News Digest

7/1 Saturday

ACA「ほんと?ホント!フェアin群馬」開催



7月1日、群馬県高崎市のイオンモール高崎にて、当協会が加盟する不正商品対策協議会(ACA)主催の「ほんと?ホント!フェアin群馬～海賊版は買わない!海賊版サイトは見ない!偽ブランド・偽キャラクターグッズは買わない!」が開催された。

本イベントは、知的財産の保護と不正商品の排除を広く消費者に訴えかけることを目的としており、当協会はブランド品やゲームソフトが並ぶ「ホンモノ・ニセモノ比較展示」において、音楽CD・DVDの真正品・模倣品の提供を行った。同イベントではほかにも群馬県出身の歌手・つのだりょうこさんによるミニコンサートや、著作権・商標権に関する「ほんと?ホント!〇×クイズ大会」といったステージイベントをはじめ、様々なプログラムが行われた。

当日は、家族連れなど約1,800人が来場し、盛況のうちに終了した。

7/10 Monday

第109回RIAJセミナー開催

7月10日、第109回RIAJセミナーがオンラインにて開催された。

今回のセミナーは、ひかり協同法律事務所三上安雄弁護士を講師に招き、『最近の労務問題』をテーマに実施。当日は、会員社のHRM部門、法務部門などを中心に45名が聴講した。

講義では、「フリーランス新法」「副業の問題点と実務対応」「その他、昨今の労務問題事例」の3つのテーマにわけて、具体的な事例に基づき、労働基準法に

照らし合わせた上で解説が行われた。

参加者からは、「難しい内容のイメージだったが、講師の具体例がわかりやすかった。」「とてもタイムリーな内容を、簡潔に分かりやすく説明いただき非常に勉強になった。」といった意見が多数寄せられた。

7/26-28 Wednesday - Friday

IFPI幹部らが来日し、関係省庁訪問

7月26日から28日にかけて、IFPI(国際レコード産業連盟)のCEO・Frances Moore氏をはじめとする幹部とメジャーレーベルの代表者らが来日し、関係省庁を訪問の上、レコード産業の諸課題について意見交換を行った。今回の訪日メンバーは以下の通り。

- ・Ms. Frances Moore(IFPI, CEO)
- ・Mr. Simon Robson(Warner Music International, President)
- ・Mr. Kwee Tiang Ang(Universal Music, SVP Asia Public Policy)
- ・Mr. John Nolan(IFPI, CFO)
- ・Mr. Lauri Rechardt(IFPI, CLO)

Frances Moore、KT Ang、Lauri Rechardtの3氏と当協会事務局は、三谷英弘衆議院議員事務所、内閣府知的財産戦略推進事務局、文化庁著作権課、経済産業省コンテンツ産業課、および早稲田大学 上野達弘教授を訪問。「生成AIと著作権」について、著作権法第30条の4に対する懸念や問題点を指摘し、条文改正に至らぬまでも条文解釈を明確化するガイドラインの作成を要望したほか、「知的財産推進計画2023」において法制化に向けた足掛かりを得た「レコード演奏・伝達権」について、その必要性和諸外国における具体的な徴収実態等を説明し、速やかな法制化を改めて要望した。

さらに、上記メンバーは当協会村松会長、林副会長、小林副会長らとともにミーティングを行い、2023年第1四半期における日本を含む世界の音楽市場や音楽ビジネスの状況を共有するとともに、レコード産業を取り巻く諸課題への取り組みについて議論を行った。

7/27 Thursday

第110回RIAJセミナー開催

7月27日、第110回RIAJセミナー「レコード倫理審査会 勉強会」がオンラインにて開催された。

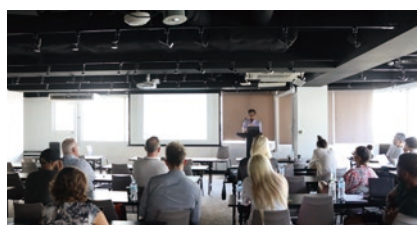
今回は、日本国内で黒人差別への理解を深める活動を行っている、Japan for Black Lives代表の川原直実氏を講師に招き、近年、歌詞に多用されている英語のスラング全般についてご講義いただいた。当日は会員社の管理部門、制作部門を中心に計109名が聴講した。

本セミナーでは、歌詞に使われやすいスラングを中心に、言葉本来の意味や英語圏での受け止められ方に加え、非母国語のスラングを使用することの危険性やアーティストが世の中に与える影響力など、具体的な実例や映像を交えながら説明が行われた。

参加者からは、「カッコよさや懂れから

スラングを安易に使用することで、国際問題に及ぶ危険性があると再認識した」「歌詞へのスラング使用が増え、許容範囲なのではと考えることもあったが、改めて使用すべきではないと思った」「アーティストにも聞かせたい内容だった」などの幅広い意見が寄せられた。

8/21 Monday

イギリス音楽関係者が来日、「UK Trade Mission」にて
畑専務理事が講演

8月21日、BPI(イギリス・レコード協会)の視察団が来日し、「UK Trade Mission」

と題した商談・セミナーイベントが東京都内で開催された。このイベントはイギリスの独立系レコード会社や音楽IT系企業が自社のレパートリーや技術を日本でプロモーションすることや、日本のマーケットの理解を深めることを目的としたもので、イギリス政府およびイギリス大使館の協力のもと不定期に開催されている。

コロナ禍後、初の実施となった今回、当協会からは畑専務理事が日本のレコード産業をテーマに講演を行った。講演では日本のレコード市場の特徴について世界との比較や統計データを交えながら紹介したほか、レコード演奏権の法制化に向けての当協会の活動等について説明した。講演終了後も活発な質疑応答や名刺交換が行われ、関係者の日本音楽マーケットへの興味の高さが感じられる機会となった。

8/25 Friday

2020新卒／2021新卒
合同交流会開催

8月25日、東京都港区のアークヒルズカフェにおいて、当協会会員社の2020年／2021年入社の社員を対象とした合同交流会が開催された。

当協会では、毎年、会員社新入社員を対象に合同研修会を開催しており、終了後、業界内での横のつながりを深めることを目的に交流の場を設けている。2020年／2021年入社の社員については、コロナ禍の影響で対面での交流機会を阻まれたため、今般、本交流会の開催にいたった。

全10社、約100名が参加した本交流会は、当協会 理事・事務局長須貝あゆみの乾杯挨拶から始まり、参加者の自己紹介、歓談と続き、大いに盛り上がりを見せた。最後に、キングレコード人事総務本部長五郎丸洋介氏による中締めにて閉会となった。

会員社のお知らせ

■社名変更(8月1日付)

新社名 : エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ株式会社 [正会員]
旧社名 : エイベックス・エンタテインメント株式会社

「第29回日本プロ音楽録音賞」開催決定

「第29回日本プロ音楽録音賞」の開催が決定した。同賞は、録音エンジニアの感性と技術力を評価・顕彰するものであり、エンジニアの技術力向上並びに次世代エンジニアの発掘を目的としている。

「第29回日本プロ音楽録音賞」募集概要

応募作品授賞区分

Best Sound部門 Super Master Sound部門 Immersive部門

アナログディスク部門 放送部門 ベストパフォーマンス賞

応募受付期間 2023年9月1日～9月30日

日本音楽スタジオ協会(JAPRS)ホームページ(www.japrs.or.jp/pro_rec)

「日本プロ音楽録音賞」の応募要項をご確認の上、ご応募ください。



主 催	一般社団法人 日本オーディオ協会、一般社団法人 日本音楽スタジオ協会、特定非営利活動法人 日本レコーディングエンジニア協会、一般社団法人 MPN、一般社団法人 日本レコード協会
後 援	経済産業省
協 賛	日本放送協会、一般社団法人 日本民間放送連盟、株式会社ステレオサウンド (以上順不同、申請中を含む)
お問合せ	第29回日本プロ音楽録音賞運営委員会(一般社団法人 日本音楽スタジオ協会内) (TEL)03-3200-3650 (URL) https://www.japrs.or.jp (Mail) japrs@japrs.or.jp



当協会の違法対策専任組織「著作権保護・促進センター(Copyright Protection and Promotion Center:CPPC)」が2013年4月1日に発足し、今年で10年を迎えた。CPPCは「ダウンロードからストリーミングへ」の音楽ビジネスの変化やスマートフォンの浸透などを受け、この10年で対応する内容を変えながら現在も様々な違法対策を実施している。

今回の特集では現在までの違法対策の変化、CPPCの10年間の活動内容を紹介したうえで、違法対策の現在とその課題について考えていきたい。

CPPCを取り巻く環境の変化～2000年から現在まで

CPPCは10年前の設立であるが、デジタル音楽が普及し、その違法利用が大きな問題となったのは2000年代初頭からのことである。【表1】では、2000年から現在までの変化を、デジタル音楽・違法対策に関する内容を中心に年表形式でまとめている。

2000年代からPCに取り込んだ音楽データを「iPod」「ウォークマン®」等の携帯音楽プレーヤーで聴取する音楽聴取スタイルが急速に普及し、これに伴い国内外でデジタル音楽の違法ダウンロードやファイル共有といった問題が深刻化していった。日本でも携帯電話向けの掲示板サイトを使った違法音楽ファイルの交換が流行し、さらに2005年にスタートした動画共有サイト上に違法にアップロードされた音楽ファイルが氾濫していった。こうした事態を受け、2010年に無許諾コンテンツのダウンロード違法化を含む著作権法改正が施行され、当初は罰則無しの制度であったが2012年には刑事罰化が実現した。

2010年代はスマートフォンの普及により、2015年頃から「MusicFM」「Music Box」等の無許諾音楽アプリ(違法ファイルへと誘導するいわゆる「リーチアプリ」)が中高生を中心に人気となり、2013年に設立されたCPPCでは違法音楽ファイルの削除要請に加え、こうしたリーチアプリ対策も大きなテーマとなった。具体的には、アプリストアへのリーチアプリの削除依頼や、違法音楽ファイルの主な蔵置先であった中国サイトへの削除要請、アプリ運営者へのアプリ削除要請、広告事業者に対する広告出稿停止依頼等である。こうした努力を経て、2020年にリーチサイト・リーチアプリ違法化を含む改正著作権法が成立。一方で新たなアプリへの対策や、なりすまし配信(有名アーティストになりすまして無許諾コンテンツを配信する行為)など、引き続きデジタル音楽の違法問題は深刻な状況である。最近ではアプリとサーバー間の通信が暗号化されるなど一層の複雑化・悪質化が進んでおり、今後も様々な機関と連携しながら、多様な対策を講じていく必要がある。

● 【表1】デジタル音楽違法対策 関連年表(2000年～現在)

※国名の無いものは日本の出来事

2000	・アメリカでファイル共有ソフト「Napster」での違法な音楽利用に対して米国レコード協会(RIAA)らが提訴 ・「(株)レーベルゲート」設立、各レコード会社が公式音楽配信サービスを開始	2012	・私的違法ダウンロード罰則化を含む著作権法改正が10月1日に施行 ・RIAJ、エルマーク®に対して利用形態を識別するマークを追加 ・ソニーが音楽ストリーミングサービス「Music Unlimited」を日本で開始
2001	・主要レコード会社共同出資により「レーベルモバイル(株)」設立、着信メロディーのサービス「レコード会社直営」開始	2013	・RIAJ、CPPC設立 ・スマートフォン向け違法音楽リーチアプリに対して、アプリストアからの削除要請を開始
2002	・プロバイダ責任制限法が施行 ・コンテンツ海外流通促進機構(CODA)設立 ・小泉純一郎総理が「知的財産立国」を宣言、「知的財産戦略会議」を設置 ・世界初となる「着うた®」サービスがKDDIとの間で開始	2014	・「iTunes Match」日本国内でサービス開始 ・RIAJダウンロード認定「着うたフル®」と「PC配信(シングル)」のカテゴリを「シングルトラック」に統合
2003	・アメリカで「iTunes Music Store」がスタート ・RIAJ、プロバイダ責任制限法ガイドラインに基づく「著作権関係信頼性確認団体」に認定	2015	・IFPIの世界音楽産業統計がストリーミングの伸びに伴い上昇に転じ始める ・日本で「音楽ストリーミング元年」、「AWA」「LINE MUSIC」がスタートし、「Apple Music」「Google Play Music」「Prime Music」が日本国内でサービス開始
2004	・RIAJ、無許諾アップロードに関する発信者情報開示請求手続きを開始 ・「着うたフル®」(フルサイズの携帯向け音楽配信)がKDDIで開始 ・「(株)レーベルゲート」が音楽配信サービス「mora」開始	2016	・内閣府調査でスマートフォン普及率がフィーチャーフォンを初めて上回る ・スマートフォン向け違法音楽リーチアプリ「MusicFM」が中高生を中心に人気となり始める ・「Spotify」日本国内でサービス開始
2005	・アメリカで「YouTube」がサービス開始 ・日本で「iTunes Music Store」がサービス開始 ・RIAJ音楽配信売上統計集計開始	2017	・RIAJ音楽配信実績の集計区分を変更し、ストリーミングカテゴリ内にサブスクリプション・広告収入カテゴリ追加等を実施 ・日本で「TikTok」がサービス開始
2006	・「ニコニコ動画」サービス開始 ・RIAJ、モバイル向け違法音源配信に関して携帯キャリアと対策について協議を開始 ・RIAJ有料音楽配信実績に対する「ダウンロード認定」の公表を開始	2018	・RIAJ統計の配信売上上で初めてストリーミングがダウンロードを上回る ・TPP整備法による著作権法改正に伴い、著作権保護期間が50年から70年に延長
2007	・アメリカで初代iPhone発売 ・RIAJ、中国の権利認証制度に基づく日本音楽の権利認証機関として北京事務所を開設	2019	・Apple、「iTunes」を次期macOS「Catalina」への搭載を行わないことを発表 ・日本でサザンオールスターズ、嵐など人気アーティストのストリーミング解禁が相次ぐ
2008	・日本でiPhone 3G発売 ・Android OS搭載スマートフォンが登場 ・スウェーデンで音楽ストリーミングサービス「Spotify」がスタート ・RIAJ、音楽配信サイト向けに正規サービスを識別する「エルマーク®」運用開始	2020	・RIAJストリーミング認定公表開始 ・「リーチサイト・リーチアプリ規制」を含む改正著作権法が10月1日に施行 ・新型コロナウイルス流行に伴い全世界で配信ライブが急速に普及し始める
2009	・「レーベルモバイル(株)」が「(株)レコチョク」へ改称 ・RIAJ、着うたフル®配信実績のウィークリーチャート公表開始 ・中国の違法サイトに対してRIAJ北京事務所から警告書送付・削除要請を開始 ・RIAJ音楽配信統計が着うた®・着うたフル®人気により909億8,200万円と一度目のピークを記録	2021	・侵害コンテンツのダウンロード規制の対象が音楽・映像から全ての著作物に拡大することを含む改正著作権法が施行 ・世界でのストリーミング人気により、IFPI統計で全世界の音楽売上で過去最高を記録
2010	・違法配信からのダウンロード違法化(罰則なし)に関する著作権法改正が施行 ・「(株)レーベルゲート」がアンドロイド向けの音楽配信を開始	2022	・放送番組同時配信等に関する権利処理の円滑化についての改正著作権法が施行 ・ストリーミングの成長により、RIAJ音楽配信統計で初めて年間1,000億円を超える ・IFPI統計、昨年記録した全世界の音楽売上の過去最高記録を更新する
2011	・レコチョクがauのスマートフォン向けに音楽ストリーミングサービス「Lismo unlimited powered by レコチョク」を開始 ・スマートフォンの違法音楽リーチアプリへの対応開始	2023	・生成AIと著作権に関する問題が話題になり始める

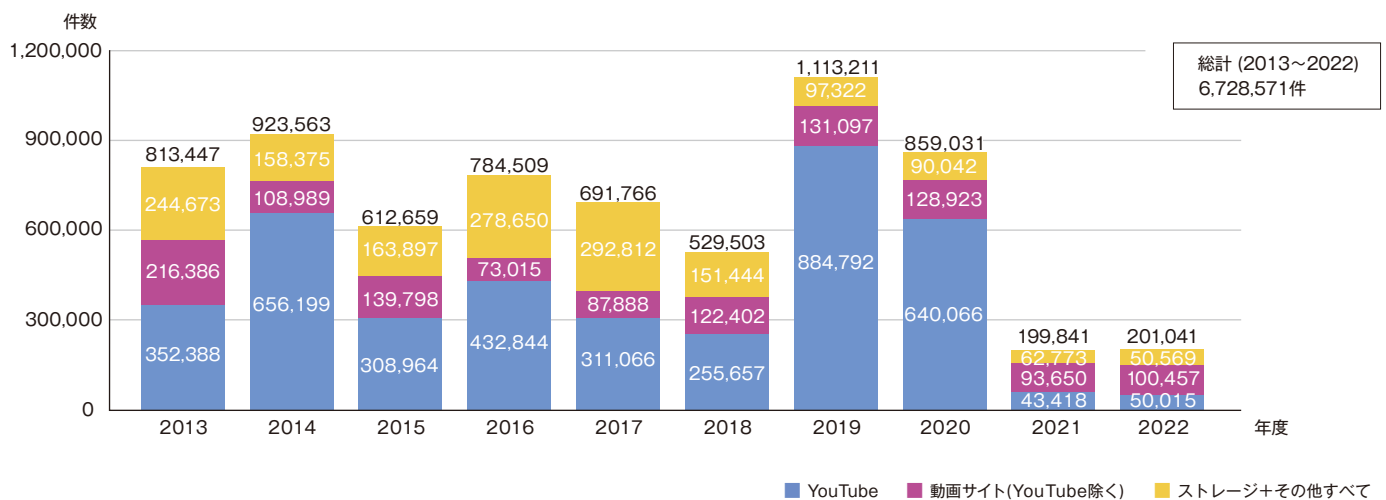
続いて【表2】のCPPC10年間の削除要請実績や対応内容件数の推移を見ていきたい。2022年度の違法ファイル削除要請件数は201,041件（2021年度：199,841件、前年度比101%）となっている。10年間の削除要請実績推移は増減を繰り返しているが、【表3】の通り2013年度から2020年度の削除要請総数は毎年YouTubeに対するものが最多であった。2021年度からはYouTubeの削除要請件数が大きく減少し、最多は2年連続で中国のbilibiliへと変化した。これはYouTubeにおけるユーザーアップロードへの対応を変更する会員社が増えていることや、CPPCによる悪質アップローダー対策が進んだことによるものである。

また、先述したアプリストアへのリーチアプリの削除要請であるが、現在も継続して行われている。2022年度はiOS6件、Android17件の合計23件で削除要請を実施し、削除率100%、平均削除日数4.3日であった（2021年度削除要請件数：iOS10件、Android18件）。

その他にもCPPCではファイル交換サービス「BitTorrent」等の悪質ユーザーに対して発信者情報開示請求訴訟を毎年20～30件程度継続して実施しているが、ISP側でログが保存されていた全てのケースで開示に至っており、開示された情報をもとに損害賠償請求を行っている。

このように10年で数字の変動はあるものの、違法コンテンツへの削除要請、刑事事件への対応、違法リーチアプリへの削除依頼、発信者情報開示請求や関連する訴訟等を毎年継続して実施しており、法改正や事業者・諸団体との連携により対策が大きく進んだ部分もあるが、違法対策は健全な音楽市場を支える活動として引き続き欠かせないテーマである。

●【表2】違法ファイルの削除要請件数の推移



●【表3】サイト別削除要請件数の推移(各年度上位10サイト)

■ 2013 年			■ 2014 年			■ 2015 年			■ 2016 年			■ 2017 年		
サイト	削除数	比率	サイト	削除数	比率	サイト	削除数	比率	サイト	削除数	比率	サイト	削除数	比率
YouTube	352,388	43%	YouTube	656,199	71%	YouTube	308,964	50%	YouTube	432,844	55%	YouTube	311,066	45%
Grooveshark	115,073	14%	Xiami	43,141	5%	Xiami	64,363	10%	Kuwo	88,812	11%	Kugou	72,237	11%
SogouLink	74,209	9%	Grooveshark	32,082	3%	4Shared	37,092	6%	QQ音楽	37,833	5%	Xiami	36,393	5%
Youku	35,463	5%	music.163	29,780	3%	Tudou	32,127	5%	Kugou	34,200	5%	Naver	33,597	5%
4Shared	35,019	5%	Youku	18,646	2%	music.163	29,066	5%	Naver	25,223	3%	Kuwo	29,795	4%
Nate	34,857	4%	Tudou	16,794	2%	Youku	26,045	4%	Duomi	22,457	3%	QQ音楽	20,944	3%
Xuite	26,794	3%	Naver	13,704	2%	Naver	23,285	4%	Youku	21,403	3%	bilibili	16,061	2%
Tudou	26,409	3%	SoundCloud	13,240	2%	SoundCloud	18,378	3%	music.163	19,582	2%	Tudou	14,559	2%
ニコニコ動画	15,868	2%	Nate	13,018	1%	56網	10,067	2%	QQ	17,410	2%	Youku	13,684	2%
Ku6	15,760	2%	56網	12,219	1%	Dailymotion	10,020	2%	Xiami	17,180	2%	ニコニコ動画	9,491	2%
その他	81,607	19%	その他	74,740	8%	その他	53,252	9%	その他	67,565	9%	その他	133,939	19%
合計	813,447	100%	合計	923,563	100%	合計	612,659	100%	合計	784,509	100%	合計	691,766	100%

■ 2018 年			■ 2019 年			■ 2020 年			■ 2021 年			■ 2022 年		
サイト	削除数	比率	サイト	削除数	比率	サイト	削除数	比率	サイト	削除数	比率	サイト	削除数	比率
YouTube	255,657	48%	YouTube	884,792	43%	YouTube	640,066	75%	bilibili	65,609	33%	bilibili	75,243	37%
bilibili	45,311	9%	bilibili	78,224	14%	bilibili	101,136	12%	YouTube	43,418	22%	YouTube	50,015	25%
Naver	20,014	4%	Tudou	13,579	9%	Rapidgator	12,700	1%	katfile	10,736	5%	katfile	8,236	4%
Rapidgator	18,915	4%	Youku	13,556	5%	katfile	10,703	1%	Rapidgator	9,605	5%	Naver	7,991	4%
Uploaded	17,119	3%	Rapidgator	10,359	5%	Naver	9,243	1%	Naver	8,592	4%	Rapidgator	7,395	4%
Youku	16,481	3%	katfile	10,060	4%	Instagram	8,745	1%	melon365	7,953	4%	ddownload	5,354	3%
Tudou	15,810	3%	Uploaded	8,355	3%	Uploaded	8,069	1%	mexa.sh	4,101	2%	ニコニコ動画	4,152	2%
katfile	14,217	3%	SoundCloud	7,521	3%	mexa.sh	5,817	1%	Instagram	3,161	2%	mexa.sh	4,113	2%
ニコニコ動画	11,942	2%	ニコニコ動画	6,651	2%	Alfapfile	5,310	1%	nitro.download	3,103	2%	MyMail.ru	4,071	2%
Mexashare	11,896	2%	Naver	6,102	2%	ニコニコ動画	5,307	1%	ニコニコ動画	2,720	1%	twitter	3,711	2%
その他	102,141	19%	その他	74,012	19%	その他	51,935	6%	その他	40,840	20%	その他	30,760	15%
合計	529,503	100%	合計	1,113,211	100%	合計	859,031	100%	合計	199,841	100%	合計	201,041	100%

※ 赤字は中国サイト（台湾含む）

これからの違法対策はどうあるべきか～担当者座談会～

前半はこれまでのCPPC10年間の実績を中心に過去を振り返ったが、後半では現在の違法対策における課題や、今後の期待について考えていきたい。そこで、違法対策に日々携わるCPPCとRIAJ違法対策部会のメンバー、計3名での座談会を実施し、違法対策の現状や課題について語り合っていたいただいた。



末永 昌樹

一般社団法人 日本レコード協会
著作権保護・促進センター（CPPC）センター長

馬場 道明

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
知的財産戦略グループ 著作権管理部 次長

井本 愛

株式会社バンダイナムコ ミュージックライブ
コーポレート本部 法務部 ゼネラルマネージャー

YouTube、違法リーチアプリ この10年の違法対策を振り返る

—CPPC設立から10年が経ちました。この間、皆様が重視して取り組んでこられた違法対策をお聞かせください。

馬場 私が最初に違法対策に直面したのはグループ内の衛星放送会社で総務の仕事をしていた2010年代前半のことです。番組を違法に収録したDVD-Rがヤフオク!に出品されているといった相談を受けこれに対応していました。その後、2015年にSMEの侵害対策部門に異動してきました。年を追うごとにYouTubeをはじめとするUGCサイトは社会に浸透していますが、大切な権利音源・権利映像が無断で利用されていないか注視しています。利用者の意識が変化する中で、クリエイター・運営者・投稿者等に正当な対価を還流するためにも侵害対策は重要と考えています。

井本 私はランティス時代の2009年頃に、CPPCの前身の違法対策会議に参加させていただきました。最初の頃はパッケージの売り上げに影響が出ないよう、違法なものは“とにかく削除”。日本レコード協会さんにもご協力いただき対応してきました。2008年頃からは自分たちが主催するアニソンの海外公演が増えてきたのですが、なぜか正規ライセンスしていない国の方が楽曲を歌っていました。その時、TVアニメでは使用されていない楽曲だったので違法で出回っているものが聴かれているのだと気付きました。それからは海外の事業者と地道にコミュニケーションを取り、正しくライセンスされたものを海外に届けていく姿勢を会社の方針として掲げてやっています。

末永 CPPC設立当時はYouTubeの無許諾アップロードは削除ありきでした。今は利用形態によっては会員社さんが使用を認めてマネタイズしている楽曲もあるので、削除の仕方は複雑

になってきています。そこは大きな違いですね。2015年に若年層をターゲットに調査をしたのですが、皆、YouTubeだけで満足していました。プロモーションツールとして利用する効果以上の満足感を彼らに与えているので、権利者側でコントロールすることが重要と考え、今のマネタイズのあり方につながっていきました。

—2015年は「音楽ストリーミング元年」。違法リーチアプリのMusicFMが中高生の間で人気になっていきました。

末永 当時のストリーミングはラインナップが今ほど充実しておらず、MusicFMはフルラインナップで数十万曲をクラウドにアップしていました。若者の間であっという間に情報が広がって問題視され、権利者からの働きかけもあり、2020年にリーチアプリ規制を含む改正著作権法が施行されました。

馬場 違法アプリ対策は、個々の会社でできることに限界があります。アプリ開発者やプラットフォームに申し立てても反応がなかったり。そんな状況下でCPPCが侵害状況をまとめてアプローチしてくれて助かりました。

井本 どうアプローチすれば削除できるのか悩んでいたのが、窓口になっていただけて削除効率が上がりました。

末永 アプリストアの本社が海外にあって、その支社が日本にある状態だったので削除に時間がかかることもありましたが、そんな時は当協会会長・副会長が自ら日本支社代表と問題解決に向け話をすることもありでしたね。

SNS配信、サイバー犯罪の国際化、なりすまし 配信……現在の違法対策の現状と課題

—ここから現在の重要課題をお聞かせください。まず形を変え

進化が進むSNS配信についてはいかがでしょうか。

馬場 かつてのSNSはユーザーが自ら文字を書き込む情報発信のツールでした。しかし今や音源や映像も簡単に掲載できてUGCサイトと大差ありません。ただ侵害対策を行う立場としては検索機能の面から侵害物を発見しにくく、UGCサイト対策とSNS対策にどうマンパワーを充てるかジレンマがあります。また誹謗中傷、なりすまし、犯罪予告への取り組みも課題です。

井本 SNSが広まった頃は、プロモーションツールとして明るい方向で使われることが多いと感じていました。ユーザー調査やマーケティングにも活用もできますし。今は違法使用をコミュニティ内で見つけたファンから情報が届きます。そんな熱意のあるファンはありがたく、通報は海外のファンの方からも届きます。ただ、海外で違法配信されると日本からアプローチする難しさはあります。

馬場 当社もアーティストのミュージックビデオやグループ会社のアニプレックスのアニメ作品が日本からのアクセス制限がなされた地域で視聴できる、との通報を受けたりしますが、現認できないので削除要請も難しく……。

末永 SNS上は検索しづらいですが、当協会が依頼をすると早めに削除されるケースもあるので、会員社さんの削除要請をまとめ、対応しています。今、SNSで一番、削除要請が多いのはTikTokです。ただ、違法使用している若者には悪気がなく「好きなアーティストを知ってほしい」という思いが強いので、そこは啓発活動をさらに行っていくことが重要です。

一次にサイバー犯罪の国際化・複雑化をお話してください。

末永 MusicFMの頃からの話ですが、違法アプリの開発者はコンテンツ・デリバリー・ネットワーク(CDN)というシステムを使っていてサーバーの所在地を隠しています。見当はついて、そのアプリが使用されている国で運用しているのではなく、他国の人間が首謀者なので、国際レコード産業連盟(IFPI)と共に調査しても追求は難しい。政府も対策を進めていますが、より国際的な連携が大きな課題です。

井本 ポーダーレスで対策をし、フィンガープリントやブロックチェーンなどの技術を活用して違法を防ぐ開発を進めて踏み込んでいくことができればと思います。

—3つ目の課題としてなりすまし配信はどうでしょうか。

末永 今のなりすまし配信は、古い楽曲の権利者になりすまして、海外のアグリゲーター経由でSpotifyなど公式なプラットフォームから配信するケース

が増えていきます。

井本 弊社も最近、被害がありました。まったく違うISRCがついた楽曲が、別の会社の権利物として流通していて。

馬場 まだ配信されていない楽曲を第三者が勝手に権利物



として登録することがあります。プラットフォーム側は登録の先後を重視されて「競合は当事者間で解消を」となります。悪意のある相手なので解決に時間がかかります。

末永 悪意を持って配信、広告などで収入を得ているのだから悪質です。

井本 ライセンスした覚えがないのに許諾を受けていると海外の配信事業者が言ってきたケースもありました。要するになりすましをしている人間が正規の権利者としてサブライセンス契約を海外の配信事業者を持ちかけ、騙されて契約を交わしていたんです。幸いその会社とは話ができて、和解はしました。

これからの違法対策の課題と期待

—ここからは未来の話を。AIの自動生成ツールの著作権侵害については、どこまで話が進んでいるのですか。

馬場 AIに学習させて生成した成果物が既存の著作物とほぼ一致していても、ユーザーが「AIで生成したものと主張すれば済む」との認識が広まるのが心配です。

末永 AIに関しては、日本では機械学習させることは法律で認められていて、アウトプットされたものは著作権法に沿って別に考えましょうという話になってきています。

馬場 AI生成物については、我々の大切な権利物に依拠して生成されたものと主張が可能か？を意識して判別するスキルを上げなければなりません。

末永 文化庁も今、生成AI開発における著作物利用のガイドラインをまとめ始めていますし、日本レコード協会でもAI検討ワーキングチームを設置して、早急に見解をまとめて、政府に働きかける予定です。アーティスト、作詞家・作曲家の方々も含めたルール作りが必要になってきます。

馬場 アウトプットされたものが「権利著作物に依拠したもの」との主張と、ユーザーの「AI生成物」との主張が対立する場合は法廷に判断を求める必要も生じてきます。

井本 まさに今年、社員向けのセミナーで取り上げたテーマがAIです。情報解析のあり方、AIを利用した著作物のあり方がそのセミナーのポイントでした。実際、AIは便利なツールですから、社内の資料を作るにあたって使うとは言えません。ただ、知らぬうちに権利侵害をしてしまう、あるいは侵害されてしまうことがあるので、現状では、外部資料としては使ってはいけません。また、アーティストやクリエイターが持ち込んだデモ音源がAIで作られているとしたら、それも怖いんです。我々は音楽をゼロからイチを生み出す仕事なので、AIが便利であっても、そのいい面と悪い面をしっかりと頭に入れておく必要があります。

馬場 AIを自分のインスピレーションを磨く道具とするのは結

構ですが、AIがアウトプットしたものをそのまま外部に出すことには慎重になっていただきたいです。

—SNSが浸透するなかでメディアリテラシーの話もされてきたと思いますが、同じようにAIについても音楽のクリエイターやユーザーへの地道な啓発活動が大事ですね。

井本 AIは正しく使うことが大事。「便利でいいものができるならいいじゃない」というレベルで仕事をしてはダメだと、著作権法を守ってきた立場として、若いアーティストやクリエイターにも伝えていかないとはいけません。

—他に権利を守るためのこれからの期待は何ですか。

末永 インターネット上のすべてのプラットフォーム共通で違法なものを自動検出して削除できたり、マネタイズできる仕組みができればと思います。

井本 結局、インターネット上のコンテンツはデータなので、先ほど少し触れましたがブロックチェーンやフィンガープリントを活用して、誰が利用しても権利者に対価を還元できる仕組みができるといいですね。ブロックチェーンでインターネット上の音源が紐づけられて、世界共通で管理ができる……とか。そうなれば違法利用が防げるし、より権利者に対価が還元できます。

馬場 プラットフォーム側はその利用者に寛容ですが、利用され



る著作物はクリエイターが努力の上に創り出したものであることに更なる理解をお願いしたいところです。

—今日はありがとうございました。最後に読者の方々、同じ音楽業界の方々にお伝えしたい思いをお願いします。

馬場 クリエイターの方々が心血を注いだ作品はしっかりと正しい形で使ってほしい。そしてやってはいけないことを理解してほしい。それが浸透して「権利侵害」が減少し正当な対価が還流するために私たちは仕事をしています。

井本 権利物という作品に関わっている方は全員が仲間です。そんな熱意をもって作られた作品を運用させていただいている気持ちでずっといます。だから正規物を届けて、その対価が新しい作品を生む循環を理解してほしいです。その理解がもっと広がっていくようになることが、これから先も続くテーマだと考えています。

末永 日本レコード協会としては、違法対策のために情報を常に会員社さんからいただいて、こちらからも新たな違法利用に目を配り、会員社の皆さんのサポートをしていきます。

「なぜ違法対策を行うのか」を地道に伝える～RIAJの著作権啓発活動～

最後に、違法対策と両輪の活動として当協会が継続して実施している著作権啓発活動についても触れておきたい。当協会ではデジタル音楽の違法問題が深刻化し始めた2000年代後半から著作権教育にも注力しており、主に中高生向けに職場訪問・スタジオ見学事業の実施やリーフレット・啓発映像の配布等を通して「ハッピーミュージックサイクル＝音楽創造のサイクル(【表4】)」を伝え続けている。

現在の10代は生まれたときからデジタルツールに当たり前に触れている「デジタルネイティブ」世代であり、簡単に違法コンテンツに触れることが可能だが、一方で「好きなアーティスト・好きな音楽に対する思い」は不変なものである。当協会の職場訪問等で中高生に対してこのハッピーミュージックサイクルを伝え、「好きなアーティストのために正しい音楽利用をしようと思った」といった反応が多く見られる。地道な活動ではあるがこうした著作権啓発も違法対策の根底に関わるものとして今後も注力していきたい。

【表4】ハッピーミュージックサイクル





「令和5年度 一般社団法人日本レコード協会 寄附講座」法政大学・電気通信大学で開講

当協会は、「令和5年度 一般社団法人日本レコード協会寄附講座」を法政大学および電気通信大学において秋学期より開講する。同講座は、次代を担う学生のクリエイティブビジネスに対する関心を高め、知的財産・著作権制度の重要性を理解してもらうことを目的として、1992年より開始した。これまでに併せて9大学で講座の寄附を実施しており、法政大学は今年度が初開講、電気通信大学は一昨年・昨年に引き続き一般社団法人日本音楽出版協会と合同で開講される。

両講座とも、音楽をはじめ、放送や出版、ゲームなどのエンターテインメント産業の具体的なビジネスの内容や、それらを支える法制度（著作権）について、毎回、各界の第一線で活躍するゲスト講師による講義形式で授業を行う。

法政大学「エンタメ産業と法」講義シラバス（予定）

	テーマ	講師（敬称略）
1	イントロダクション エンターテインメントと著作権	法政大学 法学部 教授 武生 昌士
2	レコード産業の構図と現状	一般社団法人日本レコード協会 会長 村松 俊亮
3	放送業界	日本放送協会 水戸放送局 コンテンツセンター アナウンス・チーフリード 小松 宏司
4	レコード会社のビジネス	株式会社ポニーキャニオン 代表取締役社長 吉村 隆
5	音楽著作物の集中管理	一般社団法人日本音楽著作権協会 常任理事 宇佐美 和男
6	音楽配信ビジネス	株式会社レコチョク 代表取締役社長 板橋 徹
7	ライブ・コンサートビジネス	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 会長 株式会社ディスクガレージ 取締役会長 中西 健夫
8	アニメ業界	株式会社バンダイナムコミュージックライブ 常務取締役 鈴木 孝明
9	コンテンツをめぐる紛争	染井・前田・中川法律事務所 弁護士 前田 哲男
10	アーティストプロモーション	一般社団法人アーティストコモンズ 理事長 三浦 文夫
11	ゲーム業界	株式会社スクウェア・エニックス 法務・知的財産本部 法務・知的財産部 ジェネラル・マネージャー 田崎 真理
12	キャラクタービジネス	東映アニメーション株式会社 常務取締役 営業企画本部長 篠原 智士
13	出版業界	一般社団法人日本書籍出版協会 専務理事 樋口 清一
14	日本のコンテンツビジネス戦略	経済産業省 商務情報政策局 コンテンツ産業課 課長 渡邊 佳奈子

電気通信大学「AI時代のエンタテインメントビジネスと著作権」講義シラバス（予定） ※日本音楽出版協会・日本レコード協会合同寄附講座

	テーマ	講師（敬称略）
1	オリエンテーション 情報化社会における著作権	大学院情報理工学研究科 教授 渡邊 恵理子 国立大学法人電気通信大学 大学院情報理工学研究科 教授 鈴木 勝 産学官連携センター 教授 本間 高弘
2	音楽産業の現状と今後	一般社団法人日本音楽出版協会 会長 稲葉 豊
3	音楽ビジネスと著作権・ 隣接権の基礎講座	一般社団法人日本音楽出版協会 専務理事 高嶋 裕彦
4	アニメ業界	一般社団法人アニメジャパン 副理事長 夏目 公一朗
5	音楽配信ビジネス	株式会社レコチョク 代表取締役社長 板橋 徹
6	YouTubeの音楽ビジネスへの 取組と支える仕組み	Google合同会社 YouTube 日本音楽パートナーシップ統括部長 鬼頭 武也
7	エンタテインメントビジネスと契約	TMI総合法律事務所 パートナー弁護士 小坂 準記
8	ライブ・コンサートビジネス	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 会長 株式会社ディスクガレージ 取締役会長 中西 健夫
9	キャラクタービジネス	株式会社小学館集英社プロダクション 取締役 常務執行役員 株式会社小学館ミュージック&デジタルエンタテインメント 代表取締役社長 久保 雅一
10	レコード産業の構図と現状	一般社団法人日本レコード協会 専務理事 畑 陽一郎
11	ゲーム業界	有限会社アーチャー・ホールディングス 代表取締役社長 久多良木 健
12	コンテンツをめぐる紛争	アンダーソン・毛利・友常法律事務所 パートナー弁護士 城山 康文
13	“ネットクリエイター”ってなんだ？ ～ネットクリエイターと呼ばれる ジャンルの現状と未来	株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ 第1レーベルグループ MASTERSIX FOUNDATION制作部 兼 MCR制作部 廣瀬 太一
14	放送業界と動画配信ビジネス	株式会社TBSテレビ／株式会社TBSホールディングス メディア企画室 担当部長 高澤 宏昌
15	著作権政策のいまとこれから	文化庁 著作権課長 初井 圭子



RIS503別冊 「ISRC付番規則」改訂版発行

当協会では音楽商品や音楽コンテンツに関する表示など、各種情報の標準化を目的とした団体規格「RIS(Record Industrial Standard)」を制定・発行している。この度、RIS503別冊「ISRC付番規則」を改訂し8月15日付で発行したので、以下に主な改訂内容を紹介する。

1. RIS503別冊「ISRC付番規則」とは

RIS503「国際標準レコーディングコード(ISRC)」の別冊として、ISRC付番に関するルール等を規定したもので、2022年1月にIFPI「ISRC Handbook」(ISRC関連規程)の別紙「イマーシブ音源、HDRビデオを組み込んだ音楽ビデオのISRC付番方法」が発行されたことを受け、日本国内での運用実態に即した付番規程の改訂を行ったものである。今回の改訂では、「ISRC Handbook」の内容を踏まえて音楽ビデオレコーディングへの付番ルールを規定した他、リミックスやリマスタリングにおける詳細な付番方法など、実際の運用に即した変更も行った。また、RIS503も以下のとおり軽微な改訂を行っている。

2. 主な改訂事項

RIS503別冊「ISRC付番規則」

- ① 「イマーシブ・ミックスやHDRビデオを組み込んだ音楽ビデオレコーディング」新設
- ② 「音楽ビデオレコーディング」の付番方法
- ③ 「リミックス/バージョン違い」の付番方法
- ④ ISRCのエンコード対象メディアのうち、レガシーメディア(MD、DVD-Audio、VHS)を削除、新たにBlu-rayを追加

RIS503「国際標準レコーディングコード(ISRC)」

- ① 現在運用のない「アナログ形式による発行物へのISRC表示」に関する項目の削除

① 「イマーシブ・ミックスやHDRビデオを組み込んだ音楽ビデオレコーディング」新設

2ch ステレオ・オーディオと、アトモス・オーディオ等のイマーシブ・オーディオはミックスが異なるので、別々のISRCを付番することが望ましい。同一オーディオレコーディング・同一映像の場合は、HDビデオ及び4Kビデオには異なるISRCを付番してはならない。一方、4K HDRビデオには新たなISRCを付番することが望ましい。

例：HDビデオや4K解像度ビデオから同一内容の4K HDRビデオへと解像度を変更した場合

	HDビデオ	4Kビデオ	4K HDRビデオ
ステレオ・オーディオ	ISRC 1	ISRC 1	ISRC 3
アトモス等イマーシブ・オーディオ	ISRC 2	ISRC 2	ISRC 4

② 「音楽ビデオレコーディング」の付番方法

ビデオクリップ、プロモーションビデオ、コンサート映像等が「音楽ビデオレコーディング」に含まれる。オーディオ部分にすでにISRCが割り当てられている場合でも、新しいISRCを付番する必要がある。なお、同一オーディオレコーディングで異なる音楽ビデオを作成した場合は、個別のISRCを付番する。編集やテロップの追加など、映像の構成要素に変更がある場合も、異なるISRCを付番する必要がある。

③ 「リミックス/バージョン違い」の付番方法

ひとつのレコーディングのリミックス、ミックスバージョン違いの場合、コンテンツの構成要素に変更が加えられているので、それぞれに異なるISRCを付番することが望ましい。またリミックスによってレコーディングの内容に変更があった場合は、そのレコーディングをバージョン違いと見なして異なるISRCを付番する。

詳細は、以下をご確認ください。

▶日本レコード協会規格

RIS503別冊 <https://www.riaj.or.jp/f/pdf/issue/ris/ris503xtra.pdf>

RIS503 <https://www.riaj.or.jp/f/pdf/issue/ris/ris503.pdf>



Data File

2023年第2四半期 音楽配信売上実績

2023年第2四半期の音楽配信売上は前年同期比114%の289億6,700万円となった。

これにより、2023年上半期(1~6月)累計の音楽配信売上は前年同期比113%の572億7,600万円となった。ストリーミングは第2四半期262億8,900万円、上半期517億4,500万円と、いずれも音楽配信市場全体の9割超えにまでシェアを拡大している。

(単位)数量:千回,金額:百万円

		2023年第2四半期(4月~6月) 累計			
		数 量	前年同期比	金 額	前年同期比
ダウンロード	シングルトラック	9,306	83%	1,562	92%
	アルバム	816	93%	949	90%
	音楽ビデオ	47	91%	16	77%
	ダウンロード計	10,169	84%	2,527	91%
ストリーミング	サブスクリプション/音楽			20,974	115%
	サブスクリプション/音楽ビデオ			1,421	126%
	広告収入/音楽			2,400	170%
	広告収入/音楽ビデオ			1,494	89%
	ストリーミング計			26,289	117%
その他				151	81%
合 計		10,169	84%	28,967	114%

注: 数量…ダウンロード回数

(単位)数量:千回,金額:百万円

		2023年1月~2023年6月 累計			
		数 量	前年同期比	金 額	前年同期比
ダウンロード	シングルトラック	19,070	81%	3,162	87%
	アルバム	1,695	92%	1,996	89%
	音楽ビデオ	93	82%	33	79%
	ダウンロード計	20,858	82%	5,190	88%
ストリーミング	サブスクリプション/音楽			41,496	114%
	サブスクリプション/音楽ビデオ			2,762	132%
	広告収入/音楽			4,525	185%
	広告収入/音楽ビデオ			2,963	91%
	ストリーミング計			51,745	117%
その他				341	84%
合 計		20,858	82%	57,276	113%

備考 1. 本統計は、会員会社の実績をとりまとめたもの。

注: 数量…ダウンロード回数

2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

6月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比118%の1,604万枚・巻、金額で同101%の218億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比104%の933万枚・巻、金額で同93%の119億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比146%の670万枚・巻、金額で同114%の99億円となっている。

オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		6月実績						2023年1月~2023年6月 累計					
		数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比
8cmCD シングル	邦	6	0	946%	5	0	1342%	170	0	833%	118	0	635%
	洋	0	0	—	0	0	—	1	0	251%	1	0	734%
	計	6	0	946%	5	0	1342%	171	0	827%	118	0	636%
12cmCD シングル	邦	3,347	36	122%	3,286	28	114%	19,748	35	134%	20,571	28	148%
	洋	72	1	66356%	8	0	6604%	87	0	1022%	35	0	392%
	計	3,418	37	125%	3,294	28	114%	19,835	35	135%	20,607	28	148%
シングル 計	邦	3,353	36	122%	3,292	28	114%	19,918	35	135%	20,689	28	149%
	洋	72	1	66356%	8	0	6604%	88	0	1004%	36	0	397%
	計	3,424	37	125%	3,300	28	114%	20,006	36	136%	20,725	28	149%
12cmCD アルバム	邦	5,021	54	96%	7,324	61	84%	30,427	54	113%	45,386	62	111%
	洋	617	7	82%	665	6	81%	4,254	8	74%	4,443	6	71%
	計	5,637	60	94%	7,989	67	83%	34,682	62	106%	49,829	68	105%
CD計	邦	8,373	90	105%	10,616	89	91%	50,346	90	121%	66,075	90	120%
	洋	688	7	91%	673	6	82%	4,342	8	75%	4,479	6	72%
	計	9,062	97	104%	11,288	94	91%	54,688	97	115%	70,555	96	115%
アナログ ディスク	邦	150	2	110%	404	3	167%	816	1	140%	1,776	2	164%
	洋	61	1	89%	141	1	100%	376	1	119%	892	1	133%
	計	211	2	103%	545	5	142%	1,192	2	132%	2,668	4	152%
カセット テープ	邦	23	0	259%	45	0	329%	64	0	245%	113	0	361%
	洋	1	0	139%	0	0	68%	2	0	61%	2	0	58%
	計	23	0	253%	46	0	320%	65	0	228%	115	0	326%
その他	邦	4	0	59%	4	0	66%	67	0	124%	120	0	153%
	洋	34	0	165%	62	1	171%	117	0	101%	220	0	108%
	計	38	0	138%	66	1	155%	184	0	108%	340	0	121%
合 計	邦	8,550	92	105%	11,070	93	93%	51,293	91	121%	68,083	92	121%
	洋	784	8	93%	876	7	88%	4,836	9	78%	5,594	8	79%
	計	9,334	100	104%	11,945	100	93%	56,129	100	116%	73,677	100	116%

音楽ビデオ

		6月実績						2023年1月~2023年6月 累計					
		数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比
DVD	邦	3,314	49	137%	3,865	39	119%	14,696	54	132%	17,138	40	119%
	洋	20	0	89%	31	0	96%	80	0	96%	122	0	101%
	計	3,334	50	136%	3,895	39	119%	14,777	54	131%	17,260	40	118%
ブルーレイ ディスク	邦	3,353	50	158%	5,932	60	111%	12,603	46	139%	25,869	60	134%
	洋	16	0	112%	36	0	99%	65	0	109%	162	0	94%
	計	3,368	50	158%	5,968	61	111%	12,668	46	139%	26,031	60	134%
テープ・その他	邦	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	洋	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	計	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0	0	—
合 計	邦	6,666	99	147%	9,797	99	114%	27,299	99	135%	43,007	99	127%
	洋	35	1	98%	67	1	98%	146	1	101%	284	1	97%
	計	6,702	100	146%	9,864	100	114%	27,445	100	135%	43,291	100	127%

音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

		6月実績						2023年1月～2023年6月 累計					
		数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオレコード計		9,334	58	104%	11,945	55	93%	56,129	67	116%	73,677	63	116%
音楽ビデオ計		6,702	42	146%	9,864	45	114%	27,445	33	135%	43,291	37	127%
合 計	邦	15,217	95	120%	20,866	96	102%	78,592	94	126%	111,090	95	124%
	洋	819	5	93%	943	4	88%	4,982	6	78%	5,878	5	79%
	計	16,036	100	118%	21,809	100	101%	83,573	100	121%	116,969	100	120%

ビデオレコード(含音楽ビデオ)

	6月実績						2023年1月～2023年6月 累計					
	数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
DVD	4,119	52	117%	4,825	38	107%	19,247	54	113%	23,477	38	105%
ブルーレイディスク	3,820	48	143%	7,835	62	102%	16,180	46	129%	39,064	62	126%
テープ・その他	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0	0	—
合 計	7,939	100	128%	12,660	100	104%	35,427	100	120%	62,541	100	117%

オーディオ/ビデオレコード合計

	6月実績						2023年1月～2023年6月 累計					
	数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオレコード計	9,334	54	104%	11,945	49	93%	56,129	61	116%	73,677	54	116%
ビデオレコード計	7,939	46	128%	12,660	51	104%	35,427	39	120%	62,541	46	117%
合 計	17,273	100	114%	24,606	100	98%	91,556	100	117%	136,219	100	117%

備 考 1. 本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。
 2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
 3. オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

7月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比97%の1,173万枚・巻、金額で同89%の157億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比102%の870万枚・巻、金額で同84%の105億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比87%の303万枚・巻、金額で同103%の52億円となっている。

オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		7月実績						2023年1月~2023年7月 累計					
		数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比
8cmCD シングル	邦	5	0	1163%	4	0	1355%	175	0	839%	122	0	647%
	洋	0	0	—	0	0	—	1	0	251%	1	0	734%
	計	5	0	1163%	4	0	1355%	175	0	833%	123	0	648%
12cmCD シングル	邦	2,516	29	94%	2,412	23	78%	22,264	34	128%	22,984	27	135%
	洋	2	0	32%	3	0	65%	89	0	599%	38	0	281%
	計	2,518	29	94%	2,415	23	78%	22,353	34	128%	23,022	27	135%
シングル 計	邦	2,520	29	94%	2,417	23	78%	22,439	35	129%	23,106	27	136%
	洋	2	0	32%	3	0	65%	90	0	594%	39	0	286%
	計	2,522	29	94%	2,420	23	78%	22,528	35	129%	23,145	28	136%
12cmCD アルバム	邦	5,257	60	106%	6,348	61	76%	35,684	55	112%	51,735	61	105%
	洋	638	7	92%	1,042	10	158%	4,892	8	76%	5,485	7	80%
	計	5,895	68	104%	7,391	71	82%	40,576	63	106%	57,220	68	102%
CD計	邦	7,777	89	102%	8,765	84	77%	58,123	90	118%	74,840	89	113%
	洋	640	7	92%	1,045	10	157%	4,982	8	77%	5,525	7	80%
	計	8,417	97	101%	9,810	94	81%	63,105	97	113%	80,365	96	110%
アナログ ディスク	邦	204	2	173%	467	4	191%	1,020	2	145%	2,243	3	169%
	洋	44	1	90%	107	1	110%	420	1	115%	999	1	130%
	計	248	3	149%	574	5	168%	1,440	2	135%	3,242	4	155%
カセット テープ	邦	14	0	387%	33	0	520%	78	0	263%	145	0	388%
	洋	1	0	414%	1	0	319%	2	0	80%	3	0	70%
	計	15	0	388%	33	0	515%	80	0	247%	148	0	356%
その他	邦	8	0	94%	12	0	71%	75	0	120%	131	0	139%
	洋	15	0	159%	31	0	166%	131	0	105%	251	0	113%
	計	23	0	127%	43	0	122%	207	0	110%	383	0	121%
合 計	邦	8,004	92	103%	9,277	89	79%	59,297	91	118%	77,360	92	114%
	洋	699	8	93%	1,184	11	152%	5,535	9	79%	6,778	8	86%
	計	8,703	100	102%	10,461	100	84%	64,832	100	114%	84,138	100	111%

音楽ビデオ

		7月実績						2023年1月~2023年7月 累計					
		数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比
DVD	邦	1,113	37	56%	1,305	25	63%	15,809	52	120%	18,443	38	112%
	洋	10	0	116%	11	0	80%	90	0	97%	133	0	99%
	計	1,123	37	57%	1,317	25	63%	15,899	52	120%	18,576	38	111%
ブルーレイ ディスク	邦	1,899	63	126%	3,889	74	131%	14,502	48	137%	29,758	61	134%
	洋	9	0	92%	21	0	119%	75	0	106%	183	0	96%
	計	1,908	63	126%	3,910	75	131%	14,576	48	137%	29,942	62	133%
テープ・その他	邦	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	洋	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	計	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0	0	—
合 計	邦	3,011	99	87%	5,194	99	103%	30,310	99	128%	48,201	99	124%
	洋	20	1	103%	33	1	101%	165	1	101%	317	1	97%
	計	3,031	100	87%	5,227	100	103%	30,476	100	128%	48,518	100	124%

音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

		7月実績						2023年1月～2023年7月 累計					
		数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオレコード計		8,703	74	102%	10,461	67	84%	64,832	68	114%	84,138	63	111%
音楽ビデオ計		3,031	26	87%	5,227	33	103%	30,476	32	128%	48,518	37	124%
合 計	邦	11,015	94	98%	14,471	92	86%	89,607	94	121%	125,561	95	118%
	洋	719	6	93%	1,217	8	150%	5,700	6	80%	7,095	5	86%
	計	11,734	100	97%	15,688	100	89%	95,307	100	118%	132,656	100	116%

ビデオレコード(含音楽ビデオ)

	7月実績						2023年1月～2023年7月 累計					
	数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
DVD	1,688	41	61%	2,453	29	78%	20,935	53	106%	25,930	37	101%
ブルーレイディスク	2,441	59	115%	5,939	71	115%	18,621	47	127%	45,004	63	125%
テープ・その他	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	4,129	100	84%	8,392	100	101%	39,556	100	115%	70,934	100	115%

オーディオ/ビデオレコード合計

	7月実績						2023年1月～2023年7月 累計					
	数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオレコード計	8,703	68	102%	10,461	55	84%	64,832	62	114%	84,138	54	111%
ビデオレコード計	4,129	32	84%	8,392	45	101%	39,556	38	115%	70,934	46	115%
合 計	12,832	100	96%	18,853	100	91%	104,388	100	114%	155,072	100	113%

備考 1. 本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。

2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

3. オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

ゴールドディスク認定

シングル | 邦楽

ダブル・プラチナ

なにもの	King & Prince	2023.06.21	ユニバーサル ミュージック
Start over!	櫻坂46	2023.06.28	ソニー・ミュージックレーベルズ
こっから	SixTONES	2023.06.14	ソニー・ミュージックレーベルズ

プラチナ

しあわせの花	ジャニーズWEST	2023.06.07	ジェイ・ストーム (ジャニーズ エンタテインメント・レコード)
--------	-----------	------------	---------------------------------

アルバム | 邦楽

プラチナ

First Howling : WE	&TEAM	2023.06.14	HYBE LABELS JAPAN
ゴールデン☆ベスト テレサ・テン	テレサ・テン	2003.11.26	ユニバーサル ミュージック

ゴールド

Chapter II	Sexy Zone	2023.06.07	Top J Records
------------	-----------	------------	---------------

ビデオ | 邦楽

ゴールド

KANJANI [∞] DOME LIVE 18祭	関ジャニ [∞]	2023.06.28	ジェイ・ストーム (インフィニティ・レコース)
------------------------------------	-------------------	------------	-------------------------

※日付は発売日

ダウンロード認定

シングルトラック | 邦楽

プラチナ

アイドル	YOASOBI	2023.04.12	ソニー・ミュージックエンタテインメント
------	---------	------------	---------------------

ゴールド

勝手にシンドバッド	サザンオールスターズ	2008.06.25	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
-----------	------------	------------	------------------------

※日付は配信開始日

ストリーミング認定

トラック | 洋楽

ダイヤモンド

白日	King Gnu	2019.02.22	ソニー・ミュージックレーベルズ
----	----------	------------	-----------------

トリプル・プラチナ

踊	Ado	2021.04.27	ユニバーサル ミュージック
---	-----	------------	---------------

ダブル・プラチナ

カタオモイ	Aimer	2016.09.21	ソニー・ミュージックレーベルズ
踊り子	Vaundy	2021.11.17	SDR
Stay Gold	BTS	2020.06.19	ユニバーサル ミュージック
ピーターパン	優里	2020.08.09	ソニー・ミュージックレーベルズ
アイドル	YOASOBI	2023.04.12	ソニー・ミュージックエンタテインメント

プラチナ

愛を知るまでは	あいみょん	2021.05.07	ワーナーミュージック・ジャパン
チェリー	スピッツ	2019.10.09	ユニバーサル ミュージック
Poppin' Shakin'	NiziU	2021.02.20	ソニー・ミュージックレーベルズ

認定基準

ゴールドディスク認定(音楽ソフト/カテゴリ: アルバム、シングル、音楽ビデオ)
ダウンロード認定(ダウンロード/カテゴリ: 着うた ⑥、シングルトラック、アルバム)

認定ランク	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2 ミリオン
基準	10 万以上	25 万以上	50 万以上	75 万以上	100 万以上	200 万以上

【基準単位】ゴールドディスク認定: 枚数、ダウンロード認定: ダウンロード数

備考 1. 着うた ⑥ のみダブル・プラチナ以上を顕彰

2. 「着うた ⑥」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です
3. 3 ミリオン以降、100 万毎に認定

ストリーミング認定(ストリーミング/カテゴリ: トラック)

認定ランク	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ダイヤモンド
基準	5 千万以上	1 億以上	2 億以上	3 億以上	5 億以上

【基準単位】ストリーム数

数量は、GfK Japan(ジーエフケー・インサイト・ジャパン株式会社)の提供データを元に当協会にて累計ストリーム数を算出したもの

集計対象音楽ストリーミングサービス: Amazon Music Prime、Amazon Music Unlimited、Apple Music、au うたパス、AWA、KKBOX、LINE MUSIC、Rakuten Music、Spotify、TOWER RECORDS MUSIC powered by レコチョク、YouTube Music、YouTube Music Premium
下記終了済サービスの再生回数も累積して集計しています。

d ミュージック月額コース、Google Play Music、HMVmusic powered by KKBOX、RecMusic

MIRROR MIRROR	平井 大	2021.07.25	エイベックス・エンタテインメント
喜劇	星野 源	2022.04.08	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
StaRt	Mrs. GREEN APPLE	2015.07.01	ユニバーサル ミュージック
ラブレター	YOASOBI	2021.08.09	ソニー・ミュージックエンタテインメント
ともに	WANIMA	2019.06.21	ワーナーミュージック・ジャパン

ゴールド

ボーイフレンド	aiko	2020.02.26	ポニーキャニオン
初恋が泣いている	あいみょん	2022.05.11	ワーナーミュージック・ジャパン
ちゅ、多様性。	ano	2022.11.23	トイズファクトリー
Black Mamba	aespa	2020.11.17	ワーナーミュージック・ジャパン
Next Level	aespa	2021.05.17	ワーナーミュージック・ジャパン
Anarchy	Official髭男dism	2022.01.07	ポニーキャニオン
TATTOO	Official髭男dism	2023.04.21	ポニーキャニオン
Love Forever	加藤 ミリヤ× 清水 翔太	2013.03.04	ソニー・ミュージックレーベルズ
ユーモア	King Gnu	2020.01.15	ソニー・ミュージックレーベルズ
桜	コブクロ	2018.12.05	ワーナーミュージック・ジャパン
たばこ	コレサワ	2017.03.22	日本クラウン
I gotta go (feat. Hiplin, WILYNKA & kojikoji)	GeG	2020.03.04	Goosebumps Music
糸	菅田 将暉× 石崎 ひゅーい	2020.07.17	ソニー・ミュージックレーベルズ
サムライハート (Some Like It Hot!!)	SPYAIR	2011.06.01	ソニー・ミュージックレーベルズ
美人	ちゃんみな	2021.03.19	ワーナーミュージック・ジャパン
CHEER UP	TWICE	2017.02.24	ワーナーミュージック・ジャパン
MOONLIGHT SUNRISE	TWICE	2023.01.20	ワーナーミュージック・ジャパン
そんなbitterな話	Vaundy	2023.03.13	SDR
日曜日	back number	2018.11.29	ユニバーサル ミュージック
青い春	back number	2018.11.29	ユニバーサル ミュージック
grace	藤井 風	2022.10.10	ユニバーサル ミュージック
BOOMBAYAH -KR Ver.-	BLACKPINK	2017.07.20	エイベックス・エンタテインメント
絆ノ奇跡	MAN WITH A MISSION × milet	2023.04.10	ソニー・ミュージックレーベルズ
抱きしめたい	Mr.Children	2018.05.10	トイズファクトリー
Attitude	Mrs. GREEN APPLE	2019.10.01	ユニバーサル ミュージック
ケセラセラ	Mrs. GREEN APPLE	2023.04.25	ユニバーサル ミュージック
麻痺	yama	2021.02.10	ソニー・ミュージックレーベルズ
雨とカプチーノ	ヨルシカ	2019.08.02	ユニバーサル ミュージック
正解(18FES ver.)	RADWIMPS	2020.05.15	ユニバーサル ミュージック
GONG	WANIMA	2019.07.17	ワーナーミュージック・ジャパン

トラック | 洋楽

ゴールド

Tie Me Down	Gryffin, Elley Duhé	2018.08.03	ユニバーサル ミュージック
Pretty U	SEVENTEEN	2016.04.25	PLEDIS Entertainment
Timber (feat.Ke\$ha)	Pitbull	2013.11.06	ソニー・ミュージックレーベルズ

※日付は配信開始日

ゴールドディスク認定

シングル | 邦楽

ダブル・プラチナ

Am I ready?	日向坂46	2023.07.26	ソニー・ミュージックレーベルズ
-------------	-------	------------	-----------------

プラチナ

ナツマトベ	=LOVE	2023.07.19	ソニー・ミュージックレーベルズ
好きになっちゃった	SKE48	2023.07.05	エイベックス・エンタテインメント

ゴールド

ちょっと情緒不安定?...夏/ オチャノマ マホロバ イコイノバ~昭和も令和も ワッチャワチャ~/ シェクナーレ/ ヨリドリ ME DREAM	OCHA NORMA	2023.07.26	アップフロントワークス(ゼティマ)
STARS	B'z	2023.07.12	B ZONE
地球儀	米津玄師	2023.07.26	ソニー・ミュージックレーベルズ

アルバム | 邦楽

ダブル・プラチナ

SWEET	TOMORROW X TOGETHER	2023.07.05	ユニバーサル ミュージック
POPMALL	なにわ男子	2023.07.12	ジェイ・ストーム

プラチナ

HELP EVER HURT NEVER	藤井 風	2020.05.20	ユニバーサル ミュージック
----------------------	------	------------	---------------

ゴールド

COCONUT	NiziU	2023.07.19	ソニー・ミュージックレーベルズ
クライマックス・ベスト90's プラチナ	ヴァリアス	2011.08.24	ソニー・ミュージックレーベルズ
Masterpiece	MISAMO	2023.07.26	ワーナーミュージック・ジャパン
ANTENNA	Mrs. GREEN APPLE	2023.07.05	ユニバーサル ミュージック

アルバム | 洋楽

ミリオン

SEVENTEEN 10th Mini Album「FML」	SEVENTEEN	2023.04.26	PLEDIS Entertainment
-----------------------------------	-----------	------------	----------------------

ビデオ | 邦楽

トリプル・プラチナ

King & Prince First DOME TOUR 2022 ~Mr.~	King & Prince	2023.01.18	ユニバーサル ミュージック
Snow Man LIVE TOUR 2022 Labo.	Snow Man	2023.07.05	MENT RECORDING

ゴールド

KinKi Kids Concert 2022-2023 24451~The Story of Us~	KinKi Kids	2023.07.21	ジェイ・ストーム (ジャニーズ エンタテインメント・レコード)
ジャニーズWEST 1st DOME TOUR 2022 TO BE KANSAI COLOR -翔べ関西から-	ジャニーズWEST	2023.07.26	ジェイ・ストーム (ジャニーズ エンタテインメント・レコード)
Hey! Say! JUMP 15th Anniversary LIVE TOUR 2022-2023	Hey! Say! JUMP	2023.07.12	ジェイ・ストーム

※日付は発売日

ダウンロード認定

シングルトラック | 邦楽

プラチナ

祝福	YOASOBI	2022.10.01	ソニー・ミュージックエンタテインメント
----	---------	------------	---------------------

ゴールド

花の塔	さユり	2022.07.03	ソニー・ミュージックレーベルズ
-----	-----	------------	-----------------

※日付は配信開始日

ストリーミング認定

トラック | 邦楽

ダイヤモンド

群青	YOASOBI	2020.09.01	ソニー・ミュージックエンタテインメント
----	---------	------------	---------------------

トリプル・プラチナ

魔法の絨毯	川崎 鷹也	2018.11.08	ワーナーミュージック・ジャパン
CITRUS	Da-iCE	2020.10.26	エイベックス・エンタテインメント

ダブル・プラチナ

さよならエレジー	菅田 将暉	2018.02.21	ソニー・ミュージックレーベルズ
たぶん	YOASOBI	2020.07.20	ソニー・ミュージックエンタテインメント
ただ君に晴れ	ヨルシカ	2018.05.09	ユニバーサル ミュージック
snow jam	Rin音	2020.02.19	ユニバーサル ミュージック

プラチナ

TSUNAMI	サザンオールスターズ	2019.12.20	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
美しい嘘	スピッツ	2023.04.10	ユニバーサル ミュージック
POP!	NAYEON	2022.06.24	ワーナーミュージック・ジャパン
OMG	NewJeans	2023.01.02	ユニバーサル ミュージック
オールドファッション	back number	2020.10.05	ユニバーサル ミュージック
黄色	back number	2021.09.27	ユニバーサル ミュージック
死ぬのがいいわ	藤井 風	2020.05.20	ユニバーサル ミュージック
Kill This Love	BLACKPINK	2019.04.05	ユニバーサル ミュージック
恋	星野 源	2019.08.30	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
サウダージ	ボルノグラフィティ	2018.09.07	ソニー・ミュージックレーベルズ
ビリミリオン	優里	2023.01.19	ソニー・ミュージックレーベルズ
ピースサイン	米津玄師	2020.08.05	ソニー・ミュージックレーベルズ
だから僕は音楽を辞めた	ヨルシカ	2019.04.10	ユニバーサル ミュージック

ゴールド

夜のピエロ	Ado	2021.06.14	ユニバーサル ミュージック
NIGHT DANCER	imase	2022.08.19	ユニバーサル ミュージック
Lovers Again	EXILE	2015.02.23	エイベックス・エンタテインメント
イノチミジカシコイセヨオトメ	クリープハイブ	2012.05.02	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
道	GReeeeN	2017.01.24	ユニバーサル ミュージック
できっこないを やらなくちゃ	サンボマスター	2013.06.01	ソニー・ミュージックレーベルズ
純恋歌	湘南乃風	2020.05.01	ユニバーサル ミュージック
見たこともない景色	菅田 将暉	2017.03.22	ソニー・ミュージックレーベルズ
MANIAC	Stray Kids	2022.03.18	ソニー・ミュージックレーベルズ
楓	スピッツ	2019.10.09	ユニバーサル ミュージック
名前を呼ぶよ	SUPER BEAVER	2021.06.25	ソニー・ミュージックレーベルズ
スターライトパレード	SEKAI NO OWARI	2019.01.18	トイズファクトリー
SISTER	back number	2018.11.29	ユニバーサル ミュージック
僕は君の事が好きだけど君は 僕を別に好きじゃないみたい	back number	2018.11.29	ユニバーサル ミュージック
ray	BUMP OF CHICKEN	2019.06.28	トイズファクトリー
君に捧げる応援歌	HIPPY	2017.03.29	日本クラウン
まつり	藤井 風	2022.03.20	ユニバーサル ミュージック
ガーデン	藤井 風	2022.03.23	ユニバーサル ミュージック
only my railgun	fripSide	2018.12.23	NBCユニバーサル・エンターテインメントジャパン
FOREVER YOUNG -KR Ver.-	BLACKPINK	2018.06.15	エイベックス・エンタテインメント
GIFT	Mr.Children	2018.05.10	トイズファクトリー
Love me, Love you	Mrs. GREEN APPLE	2018.01.25	ユニバーサル ミュージック
lovin'	Mrs. GREEN APPLE	2019.08.17	ユニバーサル ミュージック
Ordinary days	milet	2021.07.14	ソニー・ミュージックレーベルズ
Partner	有華	2022.04.20	日本コロムビア
言つて。	ヨルシカ	2017.06.28	ユニバーサル ミュージック
ヒッチコック	ヨルシカ	2018.05.09	ユニバーサル ミュージック
負け犬にアンコールはいらない	ヨルシカ	2018.05.09	ユニバーサル ミュージック
スパークル (original ver.)	RADWIMPS	2020.05.15	ユニバーサル ミュージック

トラック | 洋楽

ゴールド

I Really Like You	Carly Rae Jepsen	2015.03.03	ユニバーサル ミュージック
Don't Start Now	Dua Lipa	2019.11.01	ワーナーミュージック・ジャパン

※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

一般社団法人音楽情報プラットフォーム協議会(MINC)が運営するデータベース検索サイト「音楽権利情報検索ナビ」がリニューアルし、レスポンシブデザインに対応しスマートフォン・タブレットからの表示が容易になりました。MINCは当協会を含む19法人で構成されており、音楽に関する著作権及び著作隣接権に関する情報を広く収集し、「音楽権利情報検索ナビ」等を通じて情報を開示し、権利保護と著作物の円滑利用を図ることを目的としています。

▶音楽権利情報検索ナビ

<https://www.minc.or.jp> (URLの変更はありません)

編集後記

私がレコード協会に入社して初めての仕事は違法対策業務でした。その当時は2000年代後半だったので携帯電話の掲示板を見ながら違法ファイル探索をしたり、携帯キャリアの皆さんと一緒に対策を検討したりしていたことが懐かしく思い出されます。残念ながら違法対策は未だ「いたちごっこ」の状態ではありますが、様々な新技術でイノベーションが起きている昨今、抜本的な対策が進むことを期待したいと思います。(K)

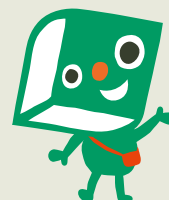
THE RECORD No.747 2023年9・10月合併号

一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 村松 俊亮
編集人 畑 陽一郎
発行日 2023年9月25日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9階
TEL.03-5575-1301(代) FAX.03-5575-1313
URL:<https://www.riaj.or.jp/>

編集協力 株式会社金羊社 / 合同会社ヤマモトカウンスル

■当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら
当協会公式サイト(URL:<https://www.riaj.or.jp/>)のお問い合わせページよりお寄せください。



エルマークキャラクター
エルマーくん